

**徹底した品質へのこだわりで作る  
 人と環境に優しい安心・安全な培養土**

山の湧き水で育った水苔<sup>みずけ</sup>でビジネスを立ち上げた三重県伊賀市の秋本天産物は、高品質の安心・安全な培養土をつくる事業で発展。日本の食を支える農家から、ガーデニングや家庭菜園を楽しむ愛好家まで多くの人の支持を受け、長年にわたって全国各地の花の彩りと豊かな収穫に貢献してきた。

**Sustainable Action**

経営環境が大きく変化する現在、「企業の持続可能性」が注目されています。このコーナーでは、新分野進出、事業転換、海外進出などの戦略により事業を持続してきた企業を取り上げ、その経営のヒントを紹介します。

**水苔や山苔を使う栽培方法を園芸界に定着させた**

「社名の「天産物」の由来は？」

**秋本** ■創業者である父・秋本多賀志<sup>たかし</sup>は戦後間もなく、山の沢に生えている水苔を井戸水の濾過材<sup>ろか</sup>に使ったり、乾かして着物の帯枕の芯材にするなど、新たな用途を考案し販売に乗り出しました。さらに、水苔の保水性の高さを利用した、全国初の洋蘭の栽培法を考案し、全国的な展開にも成功しました。

その後、1960年代後半から始まったサツキの盆栽ブームの時には、サツキと相性のいい鹿沼土<sup>かぬまどろ</sup>と水もちのいい山苔<sup>かみかき</sup>を混ぜ合わせたものを開発し、人気を博しました。このように、水苔や山苔など当社

の扱う物がすべて、天からの贈り物<sup>あまのたま</sup>だったことから、1973（昭和48）年に法人化したときに社名を「秋本天産物」としたのです。

**国内外の高品質の原料を厳選  
 重金属、放射性物質も検査**

「現在の主な事業は？」

**秋本** ■現在は野菜や花卉<sup>かき</sup>などを育てるための培養土の製造が中心で、1日に50ℓ袋を約1万袋生産しています。ほとんどは協力工場として連携している大手種苗メーカーに納品し、「たねまき培土」「育苗培土」などの商品名で販売していただいています。ユーザーは事業性農家とホームセンター、園芸店を通じて購入される一般家庭が同じぐらいになっています。

「御社が作る土の特徴は？」

**秋本** ■当社の販売する土は、山、川、田畑等から掘り出したものを商品にしているわけはありません。産業廃棄物を含む堆肥や汚泥など、植物や人体に有害な成分の混入が懸念される原料は一切使わず、カナダのピートモス<sup>ピート</sup>やスリランカのココピート<sup>ココ</sup>といった植物、パーミキュライト<sup>パーミ</sup>をはじめとした自然の鉱物など、国内外から厳選した高品質の原料だけを使用し、それらを高温処理したうえでバランス良く配合することで、人にも環境にも優しい安心・安全な培養土の製造に努めています。ヒ素、水銀、六価クロムなどの重金属、放射性物質の検査も徹底して行い、異物混入を防ぐために工場内のダスト除去にも力を注いできました。

※山苔/園芸用土として用いられる白髪苔(しらがこけ)など日陰の乾燥した場所に生育する苔の総称  
 ※ピートモス/水苔などが堆積してできた泥炭。酸性で保水性が高い  
 ※ココピート/ココナツの実の堅い殻を作るファイバー状の層  
 ※パーミキュライト/黒雲母が風化して水分を含んだ鉱物で、焼成して耐熱材・防音材などに用いる

**上からつるして、空中で収穫  
 柔軟な発想で次々に商品を開発**

「最近では「空中栽培セット」が話題になりましたね。」

**秋本** ■土を入れてつるしたドラム型バッグの底から茎を伸ばし、トマト、キュウリ、メロン等の野菜や果物を育てる栽培セットです。マンションのベランダでも手間をかけずに家庭菜園を楽しんでいただきたいと思い、2011年に発売しました。重力に従って植物が下へと伸びていくため、通常の栽培に必要な支柱も必要なく、日光もよく当たるため実りも良いです。今までにないアイデアということで、テレビでも紹介され大きな反響がありました。このような新発想の商品の開発に当社は常に取り組んでいます。

「これまでどのような商品を手掛けていられたのですか？」

**秋本** ■例えば大手ビール会社と業務提携を行い、ビール酵母から作る培養土「豊作物語」を開発しました。これを与えた植物は免疫力が高まり、元気に育ちます。この開発のきっかけになったのは、ビール酵母を加工した、整腸作用のあるサプリメントでした。人の体に良い成分なら植物にも良いはずと考え、すぐにビール会社に足を運んだのです。

このほかにも、大手種苗会社と共同で作った、可燃性の天然原料だけを配合した燃やせる土や、育苗ポットが運搬中に倒れるのを防ぐ移動用トレイも考案しました。これは、プラスチック加工会社が商品化し、当社は特許を保持しています。

水苔の産業利用を考え出した父の代から、当社は新しいことを考えるのが好きな会社です。物事をいろいろな角度から眺めて柔軟な発想をすることを大切にしています。

**靴底を減らして信頼をつかむ  
 「土は命」をポリシーに**

「業績も順調に推移されていますね。」

**秋本** ■おかげさまで、景気に左右されず業績を伸ばすことができました。「商い」とは、取引先と飽きることなくお付き合いすることだと思えます。営業は靴底を減らして取引先に通い、ニーズを把握し心をつかまなければいけません。そうした真心のこもった商いの基本を忘れないことが、企業の持続的発展につながるのだと信じています。

**秋本** ■「土は命」をポリシーに、実り豊かな収穫のために徹底的に品質にこだわった培養土をこれからも提供していきます。今年の秋には水稲用の革新的な商品を出す予定です。農作業の効率化を実現し、日本の稲作を変えるぐらいの商品だと自負しています。ご期待ください。



株式会社秋本天産物

代表取締役社長 秋本順次氏

**Profile**

- 本社/三重県伊賀市横山3600番地
- 創業/1948(昭和23)年
- 資本金/2,000万円
- 従業員数/20名
- 事業内容/農業用、家庭用の培養土・用土の製造販売、各種天産物資材の製造販売

<http://akimoto-tb.co.jp/>



展示会などにも積極的に参加している



ダスト除去を徹底した工場内部の製造ライン



柔軟な発想から開発された商品



手軽に野菜の栽培を楽しめる「空中栽培セット」